

# 【資料1】ハザードマップポータルサイトでの表示イメージ

「大規模盛土造成地」にチェック

凡例の表示

大規模盛土造成地が地図上に重ね合わせて表示されます

## 大規模盛土造成地マップ\* 凡例

【谷埋め型・腹付け型を区別している場合】

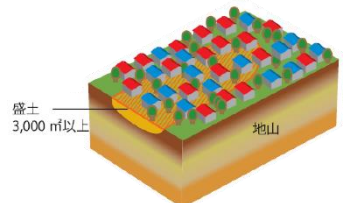
- 谷埋め型大規模盛土造成地
- 腹付け型大規模盛土造成地

【谷埋め型・腹付け型を区別していない場合】

- 大規模盛土造成地

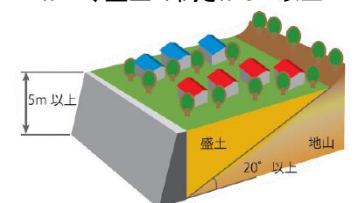
### 谷埋め型大規模盛土造成地

盛土の面積が3,000m<sup>2</sup>以上



### 腹付け型大規模盛土造成地

盛土する前の地盤面の水平面に対する角度が20度以上で、かつ、盛土の高さが5m以上



\* 大規模盛土造成地マップの詳細は、以下のサイトをご覧ください  
[http://www.mlit.go.jp/toshi/toshi\\_tobou\\_fr\\_000022.html](http://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_tobou_fr_000022.html)

## ハザードマップポータルサイトの活用例

地理院地図や空中写真上に、複数の防災に関連する地理空間情報を重ね合わせることができます

造成前の空中写真と重ね合わせることで、大規模盛土造成地の過去の状況を知ることができます。

地形を分類した過去の資料と重ね合わせることで、昔からの土地の改変状況を知ることができます。

浸水ハザードマップと重ね合わせることで、大規模盛土造成地の浸水危険性を知ることができます。